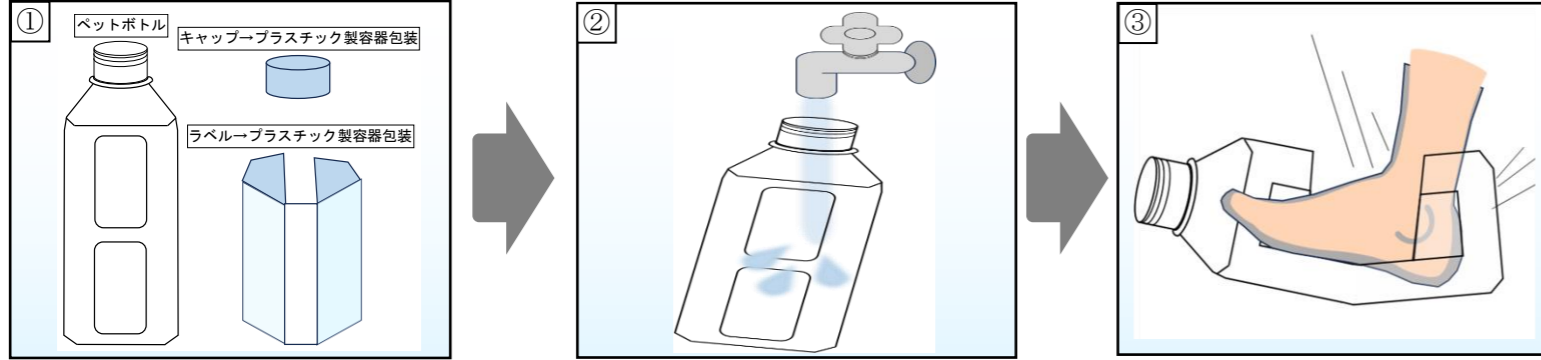


～ペットボトルリサイクルの流れ～（ペットボトルが生まれ変わるまで）

家庭

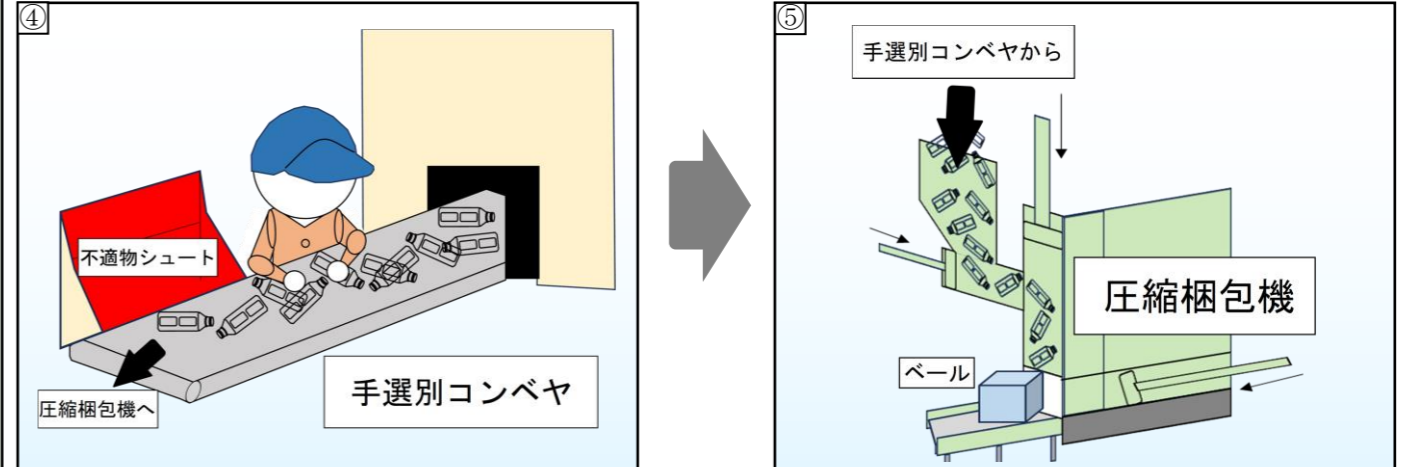
- ①ラベルをはがし、キャップをはずす。（キャップについているリングは外す必要はありません。）
- ②中をすすぐ。
- ③押しつぶし、ごみ袋へ。（つぶすことでより多くのペットボトルがごみ袋に入ります。）



※正しく分別することでリサイクルがしやすく、再利用できる質の高い資源が得られます。

千代田クリーンセンター

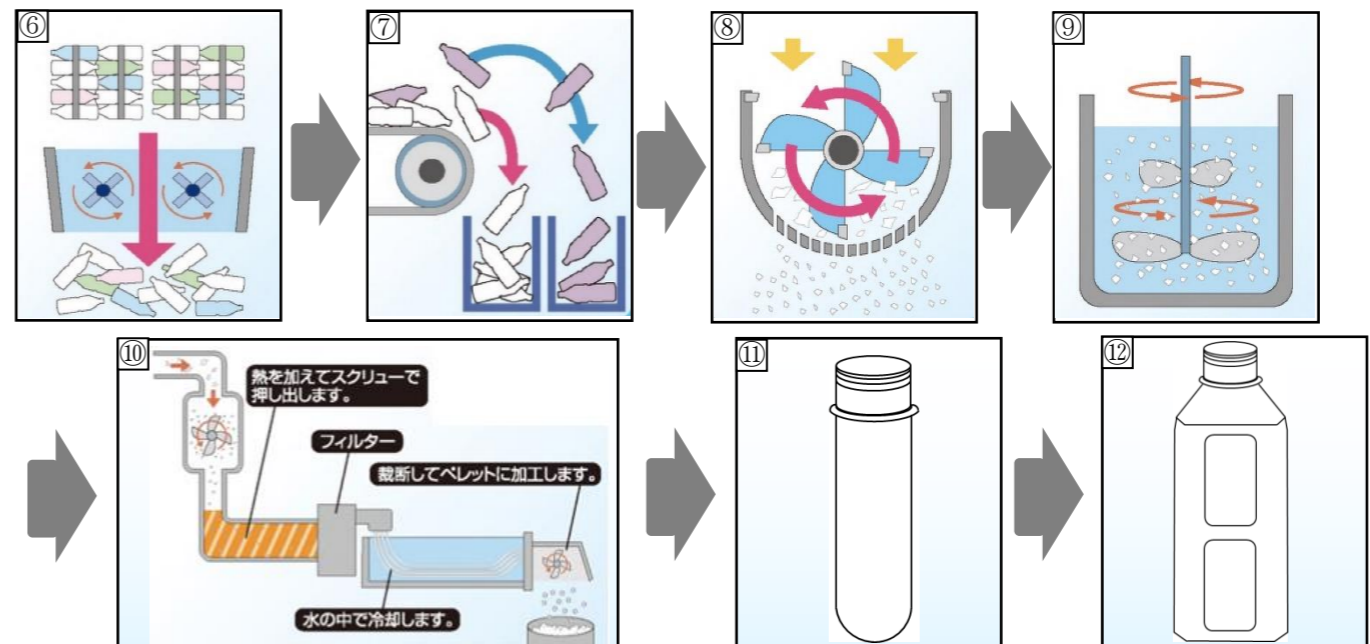
- ④人の手により汚れがないか、ペットボトル以外の物が混入していないか選別する。
- ⑤ペットボトルを運搬しやすいよう圧縮梱包する。（圧縮梱包したものを「ボール」という。）



※圧縮梱包したものはリサイクル事業者へ売払いを行い、そこで得た収入を「指定ごみ袋子育て支援事業」等に活用しています。

リサイクル事業者

- ⑥ひとまとめにされたペットボトル（ボール）を1本、1本に分ける。
- ⑦不適物（カラーボトル等）を選別装置や手選別にて取除く。
- ⑧ペットボトルを細かく砕く。（細かく砕いたものを「フレーク」という。）
- ⑨フレークをきれいに洗浄する。
- ⑩フレークを熱で溶かし、押し出したものを裁断してペレットを作る。
- ⑪ペレットを熱で溶かし、金型に流し込み、冷却しプリフォーム（ペットボトルの原型）を作る。
- ⑫プリフォームを金型にセットし、加熱した上で風を吹込み冷却後ペットボトルが完成する。



※置賜3市5町の家から集められたペットボトルは全てペットボトルとして生まれ変わっています。



**サントリー
飲料製造に使用**

